

茅ヶ崎ボランティアだより

編集・発行：茅ヶ崎ボランティア連絡会

令和5年11月7日
第162号

茅ヶ崎市新栄町13-44 茅ヶ崎市社会福祉協議会内
TEL: 0467-85-9650 FAX: 0467-85-9651
URL: <https://cvla1980.net/>

With A Coordinator

こーでいねーたーのページ

こんにちは。ボランティアセンターの鶴巻です。皆様いかがお過ごしでしょうか。早いもので入職してから6年が経ち、たくさんのボランティアさんと繋がる事ができました。茅ヶ崎市社会福祉協議会では車いすごと乗り降りできる福祉車両（ハンディキャブ）の運行をしており、運転には個人ボランティアさんのご協力をいただいております。私自身も時々運転をする機会がありますが、茅ヶ崎市は道幅の狭い箇所が多く、すれ違いや駐車、スロープを出す場所にも苦労することもあります。また、利用者の方のお身体にも負担が無いよう、スピード、振動にも気をつけながらの運転は少し緊張します。それでも終了時に利用者の方から「助かりました。ありがとうございます。」という言葉に救われ、一瞬にして心地よい達成感に変わります。いつも当たり前のように活動して下さる運転ボランティアさんには本当に感謝です。活動の終了時にも「次の予定ある？」「来月は〇〇と〇〇日は空いてるよ」「いつでも連絡して」と声をかけていただき、とても嬉しく思います。これからも支援を必要とする方のために、また無理なく活動していただけるよう私もお手伝いしたいと思っていますので、これからもどうぞよろしく願っています。 「ハンディキャブのボランティアをやってみようかな？」と思われる方、是非お声かけください！



第43回 ボランティアまつり 福祉バザー



| 車いす体験 | アトラクション | 福祉バザー |
|-----------------|------------------|--|
| 10時～14時 | マジック 11時～12時 | 10時～14時 植木、衣料、 品物、食品、 雑貨、作品、 はちみつ 手作り品 手作りおもちゃ |
| 点字体験 10時～12時 | 手話ダンス 12時～13時 | |
| 手話体験 10時～14時 | マッサージ 10時～12時 | |



日時：令和5年11月23日（木・祝日）10時から14時

会場：茅ヶ崎市民文化会館 展示室・練習室

内容：《バザー ボランティア相談》《アトラクション》
《マッサージ》《体験コーナー》

バザーの収益金はボランティア活動資金に活用させていただきます。

内容は変更になる場合があります。

お気軽にご来場ください！お待ちしております。

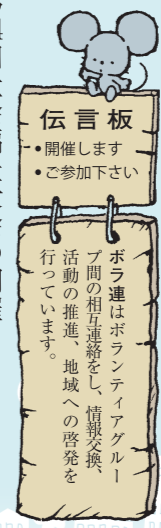
共催：茅ヶ崎市社会福祉協議会・茅ヶ崎ボランティア連絡会



ボラ連と各グループの活動状況

- ★6月9日 令和5年度 第1回茅ヶ崎市社会福祉協議会 理事会 渡邊会長
 - ★6月16日 令和5年度 第1回茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画推進委員会 渡邊会長（欠席）
 - ★6月26日 令和5年度 第2回茅ヶ崎市社会福祉協議会 理事会 渡邊会長
 - ★7月28日 令和5年度 第2回茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画推進委員会 渡邊会長
 - ★8月24日 令和5年度 第1回茅ヶ崎市生活支援体制整備事業第1層協議体 廣田副会長
 - ★8月28日 令和5年度 第1回茅ヶ崎市地域福祉活動計画推進委員会 岡田書記
- 各グループ**
- ☆手話サークル 茅の会
6月28日 円蔵中学校 2年生101名 手話体験、聴覚障がいについて
 - ☆茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団
6月28日 円蔵中学校 2年生101名 点字体験
8月1日 うみかぜテラス 小1～6年生 点字体験
 - ☆誘導グループ 草笛
5月30日 アレセイア湘南中学校 1年生47名
アイマスク、誘導体験
 - ☆介護ボランティア ポテトの会
8月3日 うみかぜテラス 小1～6年生21名
車いす体験、体の動きについて
 - 8月22日 松浪コミセン・地区社協8名 地区内講習会で講師をするための車いす体験
 - ☆筆記通訳サークル 虹
8月29日 うみかぜテラス 小1～5年生21名

☆布えほんグループ コスモス
4月12日 室田小学校・松の実実験室「むけるくだもの」寄贈
5月13日 相模原市立相模大野図書館 布おもちゃサークル・ピノキオの展示会訪問
5月24日 茅ヶ崎市立図書館 在庫品の点検・修理
6月28日 茅ヶ崎市立図書館 受講生19名「さかなつり」制作講習会
7月19日 円蔵小学校・なかよし級「ひもとおしりぼんむすび」寄贈
8月2日 うみかぜテラス 小1～6年生26名 「モビール」づくり



●第44回社会福祉大会の開催
日時 11月23日（木・祝）13時30分～（開場13時）
ところ 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール
●ボランティア入門講座の開催
日時 11月30日（木）10時～11時30分
ところ 松浪コミュニティセンター ホール1、2
内容 ボランティアに興味のある方ならどなたでも初心者歓迎
問合せ 茅ヶ崎市社会福祉協議会（ボランティアセンター）
電話（85）9650

編集後記
162号の1面は11月のボラまつり・福祉バザーの広報2面は昨年のボラ大修正生でボラ連のグループで活躍されている3人の方の年間活動体験談を寄稿してもらい、3面は「ボラ大」社協との意見交換会「タポポ」は小さな手、4面はボラ連の活動と各グループの活動「コロナ禍が去り通常の活動をしている」に感じられる。他方、今日の新聞（9月13日）には、寒川の中学校でコロナウイルスの感染で学年閉鎖と学級閉鎖になっていると報じられている。11月まで感染拡大しないでは無い。話は変わって、10月に予定していた秋の会員研修会を講師の体調不良により中止にした。数年前のボラ連40周年記念事業で講演会を企画したがコロナのため中止となった。この2回の講師は「人星亨喜楽朗」とさんです。3度目の機会があれば挑戦したい。（編集担当 書記 岡田）

茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団
有井 奈保子

それは2022年の春先のこと。一枚のチラシが我が家に舞い込んだ。「ボランティア大学受講生募集！」と記してある。さしたる高邁なボランティア精神もなく即申し込み、ボランティアの世界への扉が開いた。

ボラ大受講から点字講習へと続く。久々に生徒の席にすわり緊張する。点字の愉しさや奥深さを感じるには至らず、これも修練と観念した。

しかし今はちがう。点字を打つ。一文一文、一語一語、いや一字一字が読み手に寄り添い、伝わる。さらに読み手の心に一瞬であれあたたかな血をめぐらせることができるのだ。点字を打つことは一見地味に思える作業だが、さにあらず。そうなのだ。点字にはとどまるところを知らない、すごいパワーがあるのだ。そして私の点字活動の原動力として働いている。

人は多様な背景を抱えて生きている。自分はボランティアには関係ない、できる境遇ではないと思う人もいるだろう。ただ、ボランティア活動に参加しないまでも、関心をもち、理解する人がひとりでも増えることを願っている。

茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団
石場 早恵

ボランティア大学の選択コースで点字を選んだ。受講後、点字のボランティアグループ「茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団」に入団させていただきました。

点字は技術の習得が必要ですので、入団後も点字で確かなボランティア活動を行うために点字の独特のルールを学ぶ学習が続きますが、先輩団員の方々の丁寧なサポートもあり、安心して学習を進めていくことができます。

実際に活動するようになると、登録されている方々に定期的に点字の機関誌などを発行したり、手紙を代行で打ってさしあげたり、依頼された本の点訳や、その製本作業、茅ヶ崎市内の学校の生徒さんなどへ点字体験をしてみよう、他の団体との横のつながり等々、いろいろな活動がありますし、パソコンで点字を打つ方法や点字のルールを時代に合わせて変化させるための勉強会も行っています。これらは自分の生活ペースに合わせて参加できるようになっています。

点訳の世界は奥深く、同じ志をもつ仲間と一緒に活動しながらやりがいも持てますし、視覚障がいを持つ方々の「読みたい」「知りたい」という知的好奇心を満たしていただくことに少しでもお役にたつているとすれば、これからはずっと続けていけると思っています。そして今後も途切れることなく新しい仲間が増えていってほしいです。



ボランティア香川とポテトの会
今泉 幸子



私は、昨年度ボラ大を修了し、現在介護ボランティア「ポテトの会」と「ボランティア香川」に所属しています。どちらの会も月1回の定例会で、利用者さんの情報を共有します。2つのグループの共通の活動として、地域の高齢者や障がい者を支え、買い物、通院の送迎、話し相手等利用される方の要望に応じて、コーディネーターが担当者を決めます。

「ポテトの会」の車いすの出前講座では、地域や中学校へ出て、講習後、生徒たち二人一組になり、実際に校内の段差やスロープを操作するのを、危険のないようにそばで付き添いサポートします。生徒たちは福祉の授業に関心が高く、個々の反応はとても良いです。また、Sさんは独居の杖歩行の方で、「人だけの散歩は、転んだ時に誰も助けてくれないと不安で心細い」と話されています。私たちは、ゆっくり、じっくりとお話を聞きながら、公園道を散歩します。会話が弾み、楽しい笑顔の時間が広がります。

「ボランティア香川」では自治会館の会議室を利用し、月1回「サロン」や「ミニデイ」を開催しています。毎回担当会員が、交代でイベントを企画しています。食事をしながら会話を楽しみ、身体を動かし、歌を歌い穏やかな時間を過ごしていただき皆で交流します。また、バス旅行もあり、利用者さん同士もお友だちとおしゃべりを楽しんでいます。今年の自治会の夏祭りには、魚つり・輪投げ当てくじ等で賑わい、地域の子どもたちにも評判でした。

私たちのボランティア活動は、出来る方が出来る範囲で、参加出来るシステムなので、続いています。私は、関わった方々とふれあい、コミュニケーションの中で、自分の役割を今後の課題に、楽しく元気に活動を行って行きたい。

ボランティア大学を修了して1年間の活動体験談

2023年ボランティア大学を振り返って

茅ヶ崎ボランティア連絡会

書記 長瀬 忠和

3月1日に申し込み受付を開始し、5月11日(木)を第1回として、全7回の予定で「2023年ボランティア大学」を開始しました。

牧岡先生の「ボランティア活動とは」に始まり、車いす・誘導・録音・手話・点字・要約筆記などの体験学習、いろいろな障がいをお持ちの方の当事者体験談、昨年度のボランティア大学修了者のボランティア体験談、ボランティア連絡会会員グループのグループ紹介などをおりまして6月22日(木)に、滞りなく基礎コースを修了しました。この後は各グループの選択コースへ進む24名、ボランティアグループに入会12名、市社会福祉協議会の「ボランティア」に登録13名、その他12名というように、それぞれの希望するところに進まれました。

ボランティア連絡会各グループへの入会者は22名でした。今後の活動に期待したいものです。



茅ヶ崎市社会福祉協議会、茅ヶ崎ボランティア連絡会意見交換会

茅ヶ崎ボランティア連絡会

書記 岡田 善司

茅ヶ崎市社会福祉協議会(市社協)と茅ヶ崎ボランティア連絡会(ボラ連)は、8月7日に年に1回の意見交換会を行いました。今年3つのテーマが提案されました。この中から、市内在住の視覚障がいの方にいろいろな情報を「声」で提供している会員グループから、より多くの方に早く情報を届けるために3者(ボラ連、市社協、市役所)の連携の状況を知り深めていきたいと「ボラ連と市役所と市社協との連携について」の提案があり、今年のテーマに決まりました。また、毎月のボラ連の定例委員会でも、視覚障がいの方に声の選挙公報を早く届けられないかなど何度か話題になっていました。

まず、テーマ提案の主旨説明、次に市社協から見た現状の3者の連携について説明いただき意見交換に入り、会員からは市との連携状況、テーマに沿った幅広い意見・提案が出されました。また、視覚障がいの方の情報入手の手段が、SNS(音声)でとるようになっているか聞いています。我々の活動が時代に合っているか問いかけられているとの意見も出ました。

ボラ連としては、視覚障がいの方を対象に活動している4つの会員グループから、「会員がより広く活動するための課題(市に聞きたいこと)」の意見を集約して、来年1月を目処に市と意見交換をする予定です。



ケアサポートグループ 小さな手

たんぽぽ ボラ連の仲間の活動状況です



和気あいあいと楽しく助け合いながら、されど真面目に支援を行うボランティアグループです。

「小さな手」は2001年4月に12名で活動を開始し、現在11名でコロナ禍の中さまざまな活動を手掛けています。そうした中、「作業所と自宅を往復するだけの生活だったが、皆で遊びに行くようになった」(障がい者向サロン)、「自分の方から話すことが多くなった」「コンビニ弁当だったが、自炊が増えた」(話し相手)、「明日は訪問看護の日。今日の昼はカレーだった」等話すことが少しずつ増えて来た(障がい者送迎)等、ご本人・ご家族から声をいただいています。こうした声をいただくことは、私たちの活動の喜びであり、励みになっています。

コロナが常態化していく中、茅ヶ崎支援学校からの依頼が復活したり、施設等からの新規の依頼が増えたりして来ていますが、十分にはお応え出来ない状態が続いています。支援活動に興味のある皆様、ご参加をお待ちしています。

ケアサポートグループ 小さな手 代表 島田 和明



いつまでも若々しい仲間たち